月　日 名前　　／100点

【小3】国語 文章問題　説明文 1

つぎの文章を読んで、後の問題に答えましょう。

みなさんのくつのうらを見てみましょう。つるつるではなく、みぞやでこぼこがたくさんあるはずです。どうして、くつのうらはこんな形をしているのでしょうか。

ためしに、うらがつるつるのスリッパで、ぬれたろう下を歩くところを思いうかべてください。すべってころびそうになりますね。つるつるしたうらは、地面にぴたりとくっつくことができず、少しの力ですべってしまうのです。

でこぼこのあるうらは、ちがいます。でっぱったところが地面をしっかりとおさえ、足が前にすべるのをふせいでくれます。だから、走ったり、急に止まったりしても、ころびにくいのです。

みぞには、もう一つ大切なやくめがあります。雨の日、地面とくつのうらの間に水が入ると、すべりやすくなります。みぞは、その水を外へにがす通り道になります。水がみぞを通ってぬけていくので、くつのうらは地面からはなれずにすむのです。

体育館ではくくつと、外ではくくつのうらをくらべてみると、形がちがうことに気がつくでしょう。どんな場所を歩くかによって、うらの形はくふうされているのです。足もとの小さなでこぼこが、毎日わたしたちを守ってくれています。

（この問題のための書き下ろし）

問一　くつのうらには、何がたくさんありますか。本文から十字までで書きぬきましょう。

問二　くつのうらがつるつるだと、どうなるのですか。いちばんあうものを、ア～ウから一つえらびましょう。

ア　地面にぴたりとくっつき、ぜったいにすべらない。

イ　地面にぴたりとくっつくことができず、少しの力ですべってしまう。

ウ　水がみぞを通って、外へぬけていく。

問三　みぞは、雨の日に何の通り道になりますか。「～通り道」につづくように、本文から十字までで書きぬきましょう。

問四　でこぼこのあるうらだと、なぜころびにくいのですか。「でっぱったところ」という言葉を使って、三十五字までで書きましょう。